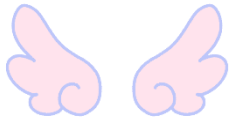


つばさだより 1月号

港区適応指導教室
「つばさ教室」
令和7年1月14日発行



(住所) 港区虎ノ門3-6-9(電話)03-5422-1548
(HPアドレス) <http://tsubasa.minato-tky.ed.jp/>



新しい年のスタートにあたって

令和7年がスタートし、新学期がスタートしました。今年巳年です。巳は脱皮を繰り返して大きくなることから、生命力や再生といったおめでたいことのシンボルとされています。つばさ教室に登室している児童生徒にとって飛躍の年になるよう願っています。



さて、11月から発行が滞っていた「つばさだより」ですが、その間もつばさ教室では平常通り運営されていました。ただし、例年と異なる点が一つだけありました。それは、学びの多様化学校「Minato School」の開校準備につばさ教室が大きくかかわっているということです。来年度から始まる「Minato School」への入学を目指してつばさ教室に登室する児童生徒が増え、それに伴い、面談も飛躍的に増えております。教室も、多目的ルームを「Minato School」入学希望児童生徒用として活用し、2教室体制で運営しています。児童生徒数が飛躍的に増え、活気あふれるつばさ教室になっております。

来年度からスタートする Minato School の開校に伴い、つばさ教室に登室している児童生徒の進路先の選択肢が一つ増えたこととなります。在籍校への復帰に加えて、学びの多様化学校「Minato school」への転校も選択肢の一つとなります。つばさ教室では一人ひとりのおかれた環境に合わせてより良い選択ができるよう支援してまいります。

【Minato School とは】

「学校に行きたくても行けない」こういった悩みを抱えている子どもたちに応じた教育活動を実施することができる学校です。他の中学校と同様に正規の教職員が配置され、一人ひとりのチャレンジ意欲や個性・能力を伸ばす指導を行っていきます。

御成門中学校に在籍することになりますが、学習する場所は、港区立教育センターとなります。

○設置形態

港区立小中一貫教育校 御成門学園御成門中学校分教室

○設置場所

港区立教育センター内（適応指導教室つばさ）「港区虎ノ門3-6-9」

○対象生徒

区内在住の不登校の中学生

(小学生は、児童一人での通学が困難なことから、適応指導教室での対応に加え、順次、校内での別室指導を充実させ、不登校児童の学びを保障してまいります)

音楽を一緒に楽しみました

～ハンドベルを通して～

10月23日(水)ハンドベル演奏会を実施し、Kissポートティンカーベルの方々によるハンドベルの演奏を聴きました。イングリッシュハンドベルの音を間近で聴くことができました。いろいろな曲を美しい音の重なりや様々な演奏方法による違った音色の演奏を楽しむことができました。また、つばさ教室に通う児童・生徒がティンカーベルの方々と一緒に「きらきら星」の演奏をしました。初めてイングリッシュハンドベルを持って演奏をしましたが、とても上手に演奏をすることができました。



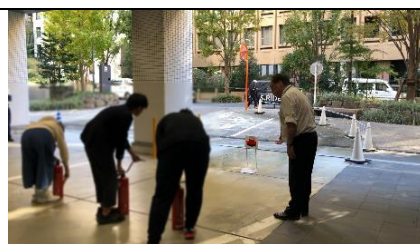
児童生徒の感想を載せます。

- ・ハンドベルの演奏がとてもきれいだった。
- ・ふだんハンドベルなんて聞かないので、近くで聞けて良かったです。ハンドベルに色々な鳴らし方があるって、ビックリしました。
- ・練習はむずかしかったけれど、演奏してみればたのしかったです。
- ・指揮者の方のお話がおもしろかった。
- ・緊張した。むずかしかった。すごかった。音がすごい。
- ・とても楽しかったです。ベルを人の前で初めて演奏してみて、意外に失敗はしなかったです。ティンカーベルの方々の演奏はとても良い音が響いてとても聞き心地がよかったです。指揮者の千葉さんも優しく楽しく、いい経験ができました。
- ・聞いたことのある曲も多く、いろいろな演奏方法で演奏していておもしろかった。グループで演奏しているから音に深みもあり、グループ演奏ならではの良さがあった。また、「きらきら星」を演奏して初めてイングリッシュハンドベルを持ってみて、重かったけど、だからこそ、初めて楽器を持った人でもきれいな音を鳴らせるのだろうと思った。今回の演奏会に参加できて良かった。

火災への備えを学びました

～避難訓練～

11月28日(木)避難訓練を実施しました。視聴覚教材で火災が起きた際の身の守り方を学んだ後、施設で火災が起きたと想定し実際に避難をして避難の仕方について確認しました。つばさ教室から一時避難場所である1階の車寄せまで行くのは長い階段をひたすら降りなければならないのですが、静かに迅速に非難することができました。そして、避難した車寄せで、ビルを管理してくださっている防災センターの方のご協力をいただき、消火器を使った消火訓練をしました。少し重い消火器ですが、全員が火元のそばへ消火器を持っていき、火事を消し止める体験をすることができました。その後、つばさ教室に戻り、アルファ米の作り方を全員で確認した後、職員が用意した豚汁と一緒に試食しました。



さつまいも掘り

～美味しくいただきました～

令和2年4月につばさ教室が現在の虎ノ門に移転する以前は、旧飯倉小学校跡地で活動していました。そのご縁で東麻布地区の町会の方がつばさ教室のために旧飯倉小学校の校庭でさつまいもを育ててください、今年も町会の方のご厚意で11月7日（木）さつまいも掘りを実施しました。日頃、土や草など自然に触れる機会がないつばさの子どもたちですが、「あった!」「大きい!」「虫だ!」「ここにもあった!」など歓声が上がり、あっという間に時間が過ぎました。今年は猛暑の夏で作柄が心配されましたが、大きなさつまいもがたくさん取れました。



11月21日（木）収穫したさつまいもを使って調理実習をしました。メニューは『簡単! さつまいもパイ』。バニラアイスや餃子の皮などを使い、家庭でも手軽に作れるようなメニューにしました。たくさん子どもたちが参加してくれたので、「石原先生班」「村石先生班」の二つの班に分け、それぞれのグループにて作業しました。調理器具が人数分なかったためお互いに貸し借りをしたり、中学生が小学生にピーラーの使い方を教えてくれたりするなど、各班協力して完成を目指しました。それぞれの班のさつまいもパイはどちらもとても美味しく、おかわりをする子が続出しました。自宅でもまた作ってみてくださいね。

心静かに取り組みました

～書道体験～

12月23日（月）講師に岩佐柏陽先生をお招きして書道体験を実施しました。日頃筆を握ることがほとんどないつばさ教室の児童・生徒ですが、それぞれ自分の学年の書初めの課題に取り組みました。岩佐先生からは筆遣いや字の形だけでなく字配り等にも細かい指導していただき、大きな書初めの用紙にも負けないすばらしい字を書くことができました。慣れない筆に苦戦する人もいましたが、みんな心を落ち着かせ集中し、真剣に取り組むことができました。



書初めとは一般的に1月2日に行われ、新年の抱負やおめでたい文字などを書いて技能上達を願う行事です。今回の書道体験で児童・生徒のみんながどんどん上達して素晴らしい字が書けるようになったように、今年もみんなが一生懸命いろいろなことに取り組んで、どんどん成長して行ってほしいものです。

つばさ教室では、子どもたちの作品を掲示しています。見ていただければ幸いです。

----- 1月の予定 -----

外国語活動 11:00～12:00	1月 8日（水）、15日（水）、22日（水）、29日（水）
体育活動 14:00～15:00	1月 9日（木）、14日（火）、16日（木）、21日（火）、 23日（木）、28日（火）、30日（木）
防災とボランティアの取組	1月31日（金）

音楽鑑賞教室

～ サントリーホールで癒されてきました ～

12月4日（水）、サントリーホールにて港区立中学校音楽鑑賞教室が行われ、つばさ教室からは在籍している中学生6名が参加しました。

世界的にも有名なサントリーホールです。パイプオルガンとオーケストラのセッションでは本当にパイプオルガンの響きが上から降ってくるのが感じられ、素晴らしい響きを体感することができました。トークも楽しい指揮者の辻さんの進行で楽しく鑑賞教室が進行し、ハリーポッターのテーマでは、演奏会の朝、チェレスタという楽器が壊れるというハプニングがありました。替わってピアノによる演奏でしたが、ハリーポッターの世界観に会場が包まれた演奏会でした。

生徒の感想を載せます。



最も印象に残った曲は？

- ・「スター・ウォーズ」より メインタイトルがティンパニー等、重低音の楽器の出番が全曲中最も多かったから
- ・「ハンガリー舞曲第5番」ティンパニーがとてまかっこよかったです。とくに音がドンドンというめだちすぎないし、ちゃんと聞いていると、音程が早くともかるい音だったりゆっくりで力強かったのがとても印象的でした。
- ・「スター・ウォーズ」メインテーマ スター・ウォーズの曲が好きなので。少し寝てしまいましたが、すばらしい鑑賞会でした。
- ・「ブルタバ」最初のしずかな川から急流に差ししかかるところまでの情景が目に見え旅している気分になった。とくにティンパニーやシンバルが加わったところでいきなり激しくなり、盛り上がり楽しくなった。間の情景も生でいつか聞いてみたいと思う。
- ・「カルメン」前奏曲 一番印象に残りました。一番初めの曲だったのもありますが、一パート目からとても明るく聞いているほうが楽しくなるような曲なのがおもしろかったです。また、ずっと同じアップテンポだったわけではなく、静かなパートもあり、終止引き込まれる演奏でした。

ネット社会に生きるヒント

～ 保護者講演会 ～

12月10日（火）国立病院機構久里浜医療センターの松崎尊信先生をお招きして、「ネット・ゲーム・スマホの依存に関して」という題で講演をしていただきました。インターネット・ゲーム・スマホに触れる現代の若者の現状やなぜ依存してしまうのかなどについての興味深いお話の後、その予防や依存の治療において重要なことを具体的に示していただきました。参加した保護者の皆さんは熱心にお話を聞き、講演会の後も個人的に松崎先生に相談される保護者の方もいてとても有意義な会となりました。



【スマホ依存を解消するためには】

「北風と太陽」の話引用し、「無理やりやめさせてもうまくいかない」ので「自分の意志で行動を変えていくことができるよう支援していく」ことが大切であるという話がありました。

SNS依存は承認欲求を満たすことが目的でのめりこんでしまうので、リアル世界を充実させていくことが大切であるという話が印象的でした。